

データセンターファシリティスタンダード (JDCC FS-001)に基づく検査のご案内

当機構では、日本データセンター協会(JDCC)が制定した「データセンターファシリティスタンダード(JDCC FS-001)※¹」に基づく検査(稼働信頼性個別検査)を実施しています。

この検査では、JDCC FS-001に規定されている基準項目と推奨項目のそれぞれの評価項目に対して、稼働信頼性を示すティアレベル(ティア1~ティア4)を判定※²します。データセンターファシリティの稼働信頼性を確認するためにお役立てください。

◆ 検査の内容

稼働信頼性個別検査では、JDCC FS-001に基づき、次の検査を実施します。

- ・書面検査: 建物平面図、単線結線図等、必要な書面を用いた検査
- ・設備検査: 事業所の建物・付帯設備等に関する検査
- ・運用検査: 事業所の管理体制等に関する検査

◆ 検査料金

検査対象範囲等により料金が異なりますので、詳しくは、ホームページよりお問い合わせ下さい。なお当機構においてISO/IEC 27001による認証登録を受けている場合は、運用検査工数・費用の削減が図れます。

※¹ 米国の民間団体であるUptime Instituteが作成した基準(Tier)を元に構成され、日本の実情を考慮して、Tierの要求基準の修正や日本独自の評価項目の設定が行われています。なお、2011年3月に発生した東日本大震災を受けて見直しが行われ、2012年3月に「東日本大震災を踏まえたデータセンターファシリティスタンダードの検証と見直し(ダイジェスト版)」が公開されました。

※² データセンター全体のティアレベルの判定は当機構では行いません。



【お問い合わせはこちら】